

乙第百貳拾七号

巡查月俸其外給與規則中挿入ノ義上申

明治十年十二月乙第百八號ヲ以テ上申仕候

巡查月俸其外給與規則第十一條ノ次ノ左

ノ一ノ條挿入從前ノ十二條以下順次繰下

候條此段上申候也

明治十年十二月廿八日 開拓長官 黒田清隆

太政大臣三條實美殿

第十二條 病氣ノ者到底奉職ニ堪ヘカレ見

込アラハハ日教ノ多寡ニ拘ハラス退職セシムヘ

シ尤モ職務上ニ於テ傷ヲ被リ療養スルモノ

ハ日教ノ長短ヲ問ハス月俸全額ヲ給スベシ

開 石 使

洋一月廿九日

開 石 使

十二月廿八日 出用係宮内省大禮

三等出仕

勸業課

書記官

外事務

乙亥百二十八号

記録係

外王人雇ハ義申

當便札幌農学校数学系、土木教師トシテ来

國人ニシル、ホパールト、ビーホテイラ明治十一年十二月廿五ヨリ

向來廿年付貿易部百五和名ニテ雇入本月廿五高知

着不任外任ノ案、及之ヲ条状ニ上申スヤ